

パートナーあんしんケアマット開発物語

..... きっかけは、10数年前のできごと

パートナーと一緒に旅行に行ったり、ドライブを楽しんだりと共に行動することは、飼い主さんにとってもパートナーにとっても楽しみの一つですね。

10数年前になります。とても苦い思い出があります。当時、パートナーだったミニチュアダックスを連れてドッグショーに参加していました。

ドッグショー会場には車で移動します。事故などの非常時を想定しパートナーは必ずゲージに入れて移動していました。

私のパートナーはショーは得意でないようでしたが、走るのはとても早く、運動能力の高い元気な子でした。当時4歳くらいだったと記憶していますが、大阪に遠征した時の出来事です。

東京から大阪までの高速道路での移動の合間に、2時間に一度は休憩をとり、ゲージから出して休憩をとりながら、パートナーに負担のないよう気を付けていたつもりでした。

大阪のショーの会場につき、ゲージをサークルの中に置いてゲージの入り口を開けると、いつもなら声をかける間もなく出てくるのに、声をかけても出てきません。手を入れてゲージから出してあげると、腰から下に力が入らない様子で歩こうとしません。

腰と後脚を痛めたようで、痛いのかフードも食べなくなっていました。

2日間予定していたショーには参加できませんでした。その後治療やマッサージで患部は治りましたが、パートナーにとって車での移動は私たちが思っている以上に負担になると痛感した出来事でした。

..... 移動中のパートナーの負担について

日本の交通機関（電車）では、盲導犬など一部を除き、専用ケースでの移動が定められています。

飛行機はもちろんのこと、前述した車での移動の際も事故時の衝撃を考慮しゲージで移動することが安全とされています。

ではゲージの中にいるパートナーたちの負担はどうなのでしょう。彼らを観察すると、丸くなって寝ている

子もいますが、座っていたり、立ち上がった状態にいる子も見かけることがあります。

座ったり立ったりしている子は、振動に対して足腰に力を入れて踏ん張っているようです。

狭いゲージの中での振動は、私たちが思っている以上に大きな負担になっています。

- **長時間の移動でも足腰に負担のかからないマット**を敷いてあげたら。。
- **粗相の際にも、短時間で簡単に対処できるような防水機能**もあったら。。



そんな思いから、**クッション性があり、やわらかすぎないダブルラッセル生地と、保水性に優れたスムーズ防水生地の組み合わせを考案し、パートナーあんしんケアマット**が生まれました。

多くの飼い主さんとパートナーにご愛用いただければ幸いです。